

じんこうき
『塵劫記』刊行 400 年記念第 4 回シンポジウム

主催 日本数学史学会

江戸時代の名著『塵劫記』は 2027 年に発刊 400 年の節目を迎えます。そのような『塵劫記』を紐解くと、商取引に必要な実用算術問題だけでなく、測量や土木技術に関わる問題も扱われていることに目が及びます。吉田光由にはそうした知識と技術経験がありました。実は、若いときに兄の光長とともに嵯峨野の地に灌漑用水を引く隧道工事に携わったことがあります。右の地図は森幸安が作成した『城西嵯峨松尾地図』の一部ですが、そこには光由の偉業が紹介されています。今回は実際に隧道を調査された金久孝喜氏に登壇をお願いしました。光由が見た隧道の風景のお話が伺えると思われま。ご期待ください。



「菫蒲谷の池」森幸安『城西嵯峨松尾地図』より
(国立公文書館蔵：請求番号 177-1-023-3)

開催日：2026 年 4 月 26 日(日)

▶ 基調講演

13:30~14:50 講師：嵐山まちづくり協議会相談役 金久孝喜

しょうぶたにずいどう

演題：菫蒲谷隧道の調査から

▶ シンポジウム

15:00~15:30 テーマ：菫蒲谷隧道工事と吉田光由

コーディネーター：日本数学史学会副会長 張替俊夫

パネリスト：嵐山まちづくり協議会相談役 金久孝喜

嵯峨の竹 岡幸 岡村時幹

塵劫記凡人愛好家 丹羽建二

四日市大学関孝和研究所研究員 中井 保行

・会場：京都橘大学(京都市山科区大宅山田町 34)の啓成館 101 教室(予定)。リモート(Zoom)による視聴も可能です。大学構内に駐車場はありません。

・参加費：無料

・申し込み：直接会場へお越し下さい。リモート(Zoom)視聴の場合は日本数学史学会のホームページ (<https://suugakushi.com/>) から申し込んでください。

・協力団体：数学教育協議会 全国数学教育学会 日本科学史学会 日本数学会 日本数学教育学会 吉田光由悠久会 四日市大学関孝和数学研究所 和算問題教材化研究会 各県和算研究会 京都の寺院

・後援：京都府 京都府教育委員会 京都市 京都市教育委員会 (予定)